



学区社会福祉協議会は、全ての住民が安心して暮らすことができる福祉のまちを、住民が主体となって地域総ぐるみで推進することを目的とした団体です。小学校区単位で設置されており、取り組み事業は学区ごとに異なります。今回より昭和区内の学区社会福祉協議会の活動を順番にご紹介していきます。

村雲学区 むらくもしえん隊

村雲学区社会福祉協議会は、今年3月から「地域支えあい事業」(相談窓口)を始めました。この事業は、住民の皆さんが抱えるちょっとした困りごとを、住民同士の見守りや支えあいにより解決するものです。

現在、29名の方がこの事業のボランティアとして登録し、「むらくもしえん隊」を結成しました。この事業を通じて、住民の皆さんが暮らしやすい地域づくりをすすめたいと思います。

**困りごとやお願いごとがありましたら、お気軽にご相談ください！
当番のボランティアコーディネーターが対応します**

こんな困りごとをボランティア「むらくもしえん隊」が解決します

- 電球の交換 ●大きな荷物の移動 ●家具の移動
- 話し相手 ●買い物の付添い ●家具の組立て
- 庭の草取り ●火災警報器の取付け ●ゴミだし など

■開設日時：毎週水・木曜日9:00～12:00 ■開設場所：村雲会館

■連絡先：080-9494-9683 (上記時間内にお電話ください)



依頼を受けてオルガンを移動中

吹上学区 ふれあい伝承あそび

吹上学区社会福祉協議会では20年以上前から年4回、吹上小の体育館で伝承遊びの会が行われてます。取材に伺った当日は、朝からの雨にもかかわらず60人以上の人が来ていました。子ども達は、体育館の中に作られた将棋、竹とんぼ、押し花アート、卓球などのブースで思い思いに楽しんでいました。一緒に参加した高齢者の方々に「どうやるの」と尋ねる姿も見受けられ、世代間交流にもなっていると感じました。お昼前には、子ども会、民生委員の方々の手作りドーナッツが出され、子ども達は大喜びでした。朝から学校の先生が門を開けて下さったり、学区社協の方々が準備をされたり、いろいろな方に支えられて開催できていると、関係者の方は話されていました。



(風船が)
「なかなかふくらまないね～」



押し花アートに
熱中する子ども達



卓球を楽しむ
子ども達